

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 種村 均
 (氏名) 加藤 博

TEL 052-561-7116

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	68,180	△11.8	461	△75.9	1,239	△53.2	2,249	△50.9
24年3月期第3四半期	77,269	△2.8	1,910	△45.6	2,648	△31.1	4,579	126.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,210百万円 (△26.3%) 24年3月期第3四半期 2,999百万円 (417.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.14	—
24年3月期第3四半期	32.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	111,267	65,403	58.0	421.62
24年3月期	117,735	68,896	51.5	434.14

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 64,495百万円 24年3月期 60,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当金の予想額につきましては、現時点では未定であります。

配当予想の修正につきましては、本日(平成25年2月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	△11.9	△400	—	500	△81.4	1,100	△75.4	7.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年2月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) Noritake Porcelana Mfg., Inc.

(注)詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	158,428,497 株	24年3月期	158,428,497 株
25年3月期3Q	5,457,015 株	24年3月期	18,827,051 株
25年3月期3Q	148,628,697 株	24年3月期3Q	139,682,740 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高は681億80百万円(前年同期比11.8%減少)、営業利益は4億61百万円(前年同期比75.9%減少)、経常利益は12億39百万円(前年同期比53.2%減少)、四半期純利益は22億49百万円(前年同期比50.9%減少)となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

主力の研削砥石は、国内市場においては自動車部品メーカーの海外生産への移行や鉄鋼・ベアリング業界の減産の影響を受けたことにより、また、海外市場においては北米の自動車業界向けが順調に推移したものの、タイにおける洪水や欧州における為替の影響により、それぞれ売上げが減少しました。CBN工具は、国内市場においてはLED関連が、海外市場においては自動車業界向けが好調であり、売上げが増加しました。ダイヤモンド工具は、国内のLED関連・北米の自動車業界向けは好調だったものの、電子・半導体業界、太陽光発電向けの不調により、売上げは減少しました。研磨布紙は、国内・海外共に、ほぼ前年並みとなりました。その結果、工業機材事業の売上高は274億7百万円(前年同期比3.2%減少)、営業利益は1億98百万円(前年同期比76.4%減少)となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、太陽光発電用は原材料の貴金属価格の下落により、セラミック・コンデンサー用は主要客先の生産縮小の影響を受け、売上げは減少しました。また、セラミックコアも、発電機向けの震災復興特需が一段落したことから売上げが減少しました。一方、石膏はアジアを中心に海外向けが堅調に推移し、厚膜回路基板も、自動車生産台数の回復に伴い売上げが大幅に増加しました。蛍光表示管モジュールは、欧米市場の販売不振と不採算品からの撤退に伴い大きく減少しました。連結子会社である共立マテリアル株式会社も、セラミック原料・電子部材共に、売上げが減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は235億22百万円(前年同期比15.9%減少)、営業利益は6億12百万円(前年同期比67.1%減少)となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池電極材料用が顧客の投資一巡の影響を受け、売上げは大きく減少しました。研削機械及び超硬丸鋸切断機も、主需要先の設備投資抑制により、売上げは減少しましたが、濾過装置及び混合・攪拌装置は、海外へ進出する日系企業の設備投資や工作機械付属用に支えられ、ほぼ前年並みとなりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は111億23百万円(前年同期比25.4%減少)、8百万円の営業損失となりました。

(食器)

国内市場につきましては、百貨店向けは依然厳しい状況が続いているものの、ホテル・レストラン向けの新規物件獲得により、売上げは微増となりました。海外市場につきましては、北米では百貨店向けが好調だったものの、アジアにおけるエアライン向けの減少により、売上げはほぼ前年並みとなりました。その結果、食器事業の売上高は61億27百万円(前年同期比0.8%増加)、3億41百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が増加したものの、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したことから、前連結会計年度末に比べ64億67百万円減少し、1,112億67百万円となりました。

負債は、設備関係支払手形が増加したものの、支払手形及び買掛金並びに流動負債の引当金が減少したことから、前連結会計年度末に比べ29億75百万円減少し、458億63百万円となりました。

純資産は、株式交換により自己株式が減少したものの、少数株主持分及び利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ34億92百万円減少し、654億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、主力の工業機材事業において一部の顧客による大幅な減産や在庫調整の影響を受け、昨年11月以降、急速に受注が落ち込んでおります。また、セラミック・マテリアル事業及びエンジニアリング事業においても、中国太陽電池業界や液晶パネル業界の不振に加え、半導体業界の回復の遅れ、更にはリチウムイオン電池関連向けの設備投資の低調といった厳しい事業環境が依然として続いております。これにより、売上高及び利益は平成24年9月28日に公表いたしました時点の想定を下回る推移となることが予想されることから、前回予想を修正いたします。期末配当予想につきましても、当社は安定的な配当を維持することを経営政策のひとつとして認識しておりますものの、業績予想を下方修正することに伴い、現時点では未定とし、今後の見通しを勘案した上で提示させていただきます。

詳細につきましては、本日(平成25年2月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、Noritake Porcelana Mfg., Inc. は清算終了したため、連結の範囲より除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,447	13,504
受取手形及び売掛金	30,410	25,597
商品及び製品	5,988	6,082
仕掛品	4,656	4,999
原材料及び貯蔵品	4,202	3,668
その他	2,378	1,718
貸倒引当金	△235	△30
流動資産合計	63,848	55,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,790	11,153
その他(純額)	20,343	20,608
有形固定資産合計	30,133	31,762
無形固定資産	592	512
投資その他の資産		
投資有価証券	20,047	20,312
その他	3,228	3,258
貸倒引当金	△115	△119
投資その他の資産合計	23,160	23,452
固定資産合計	53,886	55,726
資産合計	117,735	111,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,346	12,676
短期借入金	1,634	1,624
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000
未払法人税等	536	242
引当金	1,486	405
設備関係支払手形	1,134	2,296
その他	3,416	4,344
流動負債合計	24,555	24,590
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,200	7,275
退職給付引当金	1,192	1,149
その他の引当金	807	767
その他	2,083	2,081
固定負債合計	24,283	21,273
負債合計	48,838	45,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	36,815	34,816
自己株式	△7,633	△1,633
株主資本合計	63,646	67,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	2,839
為替換算調整勘定	△5,929	△5,991
その他の包括利益累計額合計	△3,039	△3,152
少数株主持分	8,289	907
純資産合計	68,896	65,403
負債純資産合計	117,735	111,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	77,269	68,180
売上原価	58,605	51,580
売上総利益	18,663	16,600
販売費及び一般管理費		
販売費	11,802	11,507
一般管理費	4,951	4,631
販売費及び一般管理費合計	16,753	16,139
営業利益	1,910	461
営業外収益		
受取利息	41	34
受取配当金	321	334
受取賃貸料	239	224
持分法による投資利益	315	210
その他	63	210
営業外収益合計	980	1,014
営業外費用		
支払利息	117	112
為替差損	55	—
固定資産賃貸費用	25	69
その他	43	54
営業外費用合計	242	236
経常利益	2,648	1,239
特別利益		
固定資産売却益	2,821	0
持分変動利益	989	—
負ののれん発生益	—	4,020
その他	36	—
特別利益合計	3,848	4,020
特別損失		
固定資産処分損	485	668
減損損失	—	1,359
投資有価証券評価損	46	57
関係会社整理損	—	169
特別損失合計	531	2,254
税金等調整前四半期純利益	5,965	3,005
法人税、住民税及び事業税	688	546
法人税等調整額	238	104
法人税等合計	926	650
少数株主損益調整前四半期純利益	5,038	2,354
少数株主利益	458	104
四半期純利益	4,579	2,249

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,038	2,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,461	△100
為替換算調整勘定	△543	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	8
その他の包括利益合計	△2,038	△144
四半期包括利益	2,999	2,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,484	2,136
少数株主に係る四半期包括利益	514	73

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月21日開催の取締役会決議に基づき、平成24年8月1日に共立マテリアル株式会社を完全子会社とする株式交換を行い、自己株式を16,078千株交付しております。その結果、利益剰余金が3,174百万円、自己株式が6,518百万円減少しております。

また、平成24年9月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、市場買付の方法により平成24年12月31日までに当社普通株式を2,697千株取得し、その結果、自己株式が516百万円増加しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	28,311	27,978	14,901	6,079	77,269
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	842	1,861	△358	△435	1,910

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	27,407	23,522	11,123	6,127	68,180
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	198	612	△8	△341	461

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計		
減損損失	296	59	22	—	378	981	1,359

(注) 本社工場の三好事業所等への移転及び営業拠点の移転に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

(重要な負ののれん発生益)

「セラミック・マテリアル」セグメントにおいて、平成24年8月1日に共立マテリアル株式会社を完全子会社とする株式交換を行ったことに伴い、負ののれん発生益を3,951百万円計上しております。